

1 学力の状況と要因分析

1.1 全国学力・学習状況調査結果

表内の数値は、全国(公立)の平均正答率を100とした場合の相対値である。

教科		R7	R6	R5
国語	本校	92.1	91.2	94.6
	県	99.4	—	—
数学	本校	82.8	97.1	98.0
	県	97.3	—	—

1.2 生徒質問調査結果

表内の数値は、県平均値の計算を基に算出した偏差値である。

項目	R7	R6	R5
主体的・対話的で深い学び	49.4	49.2	48.7
主体的な学習の調整	48.8	48.9	47.6
国語に関する意識	51.0	50.7	48.4
国語の学習活動	49.6	50.8	49.1
数学に関する意識	48.4	49.1	50.2
数学の学習活動	47.3	48.3	51.6

2 本校の状況と分析

質問調査からわかることは、国語は関心と学習活動が結びついていない。数学は関心と学習活動共に低い結果である。どちらも楽しい授業づくりに向けて、授業改善を考え、関心を高めることからだと考える。解答の結果から記述の問題が解けていない。意識の向上に向けて、家庭と連携し、家庭学習の習慣作りに重点を置いていく。

3 今後の取り組み

勉強が楽しいと思えるような環境づくりを目指していく。そのためには、学習の習慣作りができるような教育課程から横断的な学習につながるような取り組みを考えていく。まずは、授業の配分を工夫し、演習の時間を多くとり、生徒が自ら学習を調整できるような個別最適な学びを考えていく。